

# 3

## 地域公共交通の実態・ニーズの把握

### 1 アンケート調査

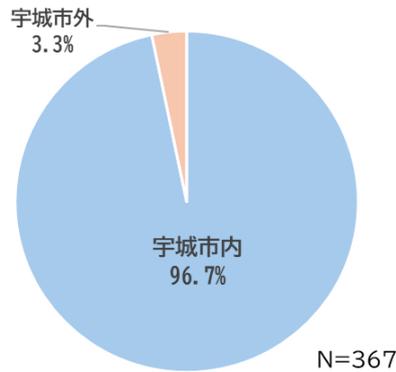
#### 1 アンケート調査概要

宇城市の公共交通の実態を把握するために、各種アンケート調査を実施しました。調査の概要は以下の通りとなっています。

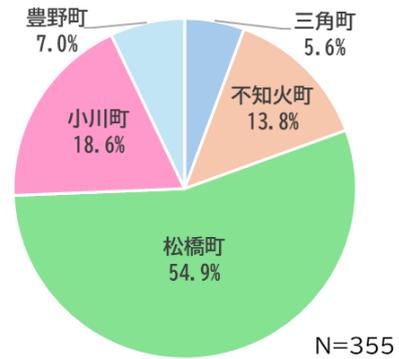
調査名	実施時期	実施方法	有効サンプル数
市民アンケート調査	令和6年9月～10月	WEB調査	367票
駅・バス停利用者 アンケート調査	令和6年9月	聞き取り 調査	駅 348票 バス停 81票
乗合タクシー利用者 アンケート調査	令和6年9月～10月	車内に調査 票を設置	33票
商業施設利用者 アンケート調査	令和6年9月	聞き取り 調査	404票
企業・事業所への通勤等 に関するアンケート調査	令和6年9月～10月	WEB調査	代表者 11票、 従業員 39票
学生への通学等 に関するアンケート調査	令和6年9月～10月	WEB調査	高校生 661票、 支援学校 2票
民生委員への地区の生活交通 に関するアンケート調査	令和6年9月～10月	調査票を 配布	119票

## 2 市民アンケート調査

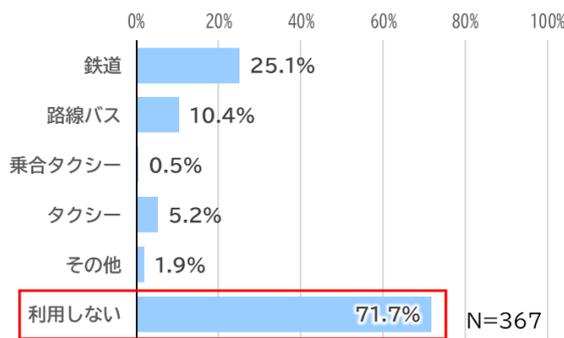
- 約7割が公共交通を利用しないとの回答がありました。
- 公共交通への改善要望としては、運行本数が最も多く、運行ルート、各公共交通の乗り継ぎと続きます。
- 公共交通への満足度としては、半数以上がやや不満、不満と回答しています。



▲回答者の居住地

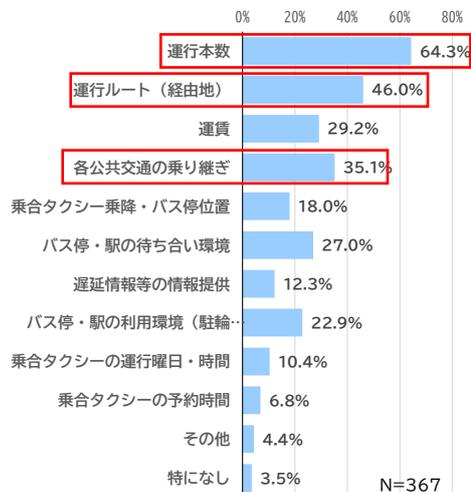


▲市内居住者の住所



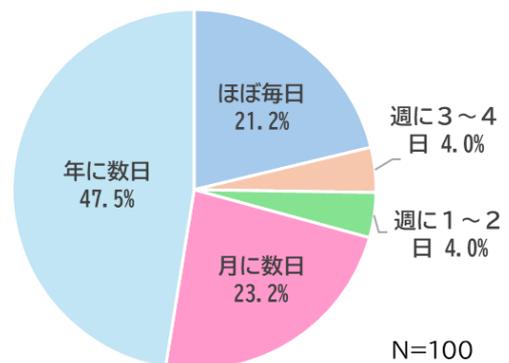
▲日常生活で利用する公共交通

〔複数回答〕



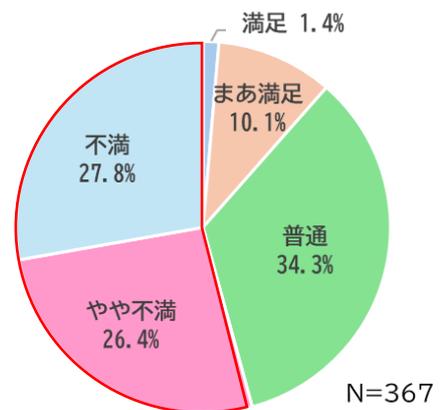
▲公共交通を利用するにあたっての改善点

〔複数回答〕



▲日常生活で公共交通を利用する頻度

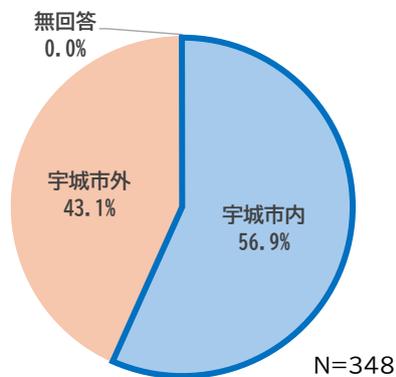
※公共交通を利用する人のみ対象



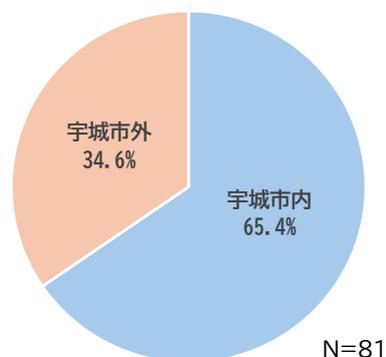
▲公共交通の満足度

### 3 駅・バス停利用者アンケート調査

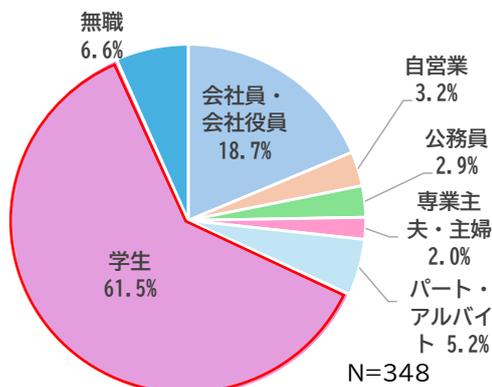
- 学生の割合が高く、**通学に多く利用**されている状況です。
- 改善要望としては、**運行本数が最も多く**挙げられました。



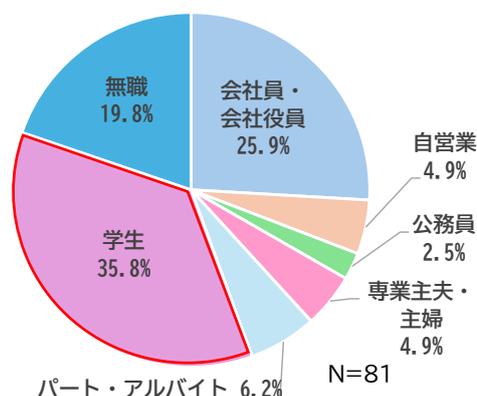
▲回答者の居住地（鉄道駅利用者）



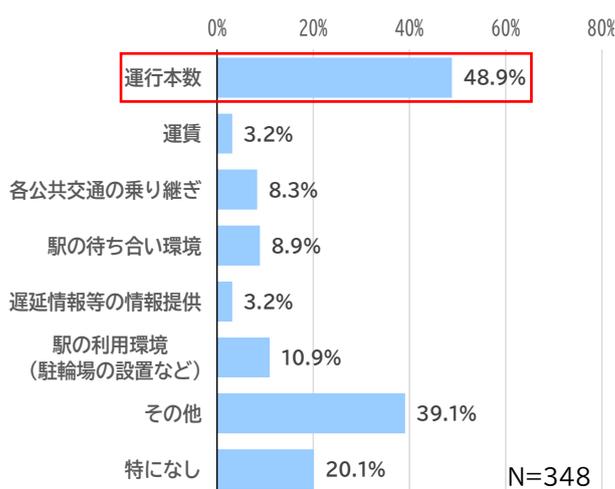
▲回答者の居住地（バス停利用者）



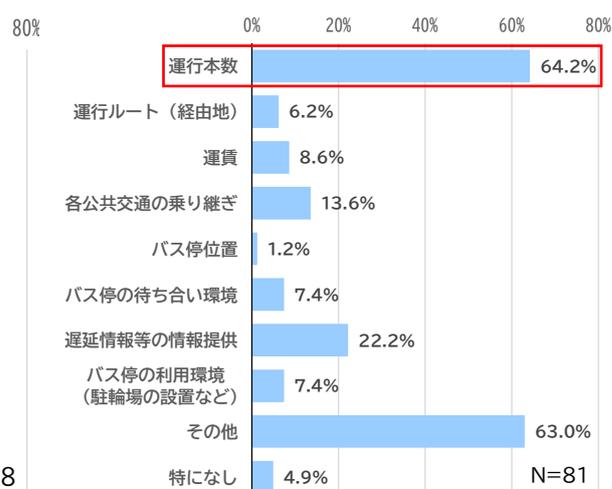
▲回答者の職業（鉄道駅利用者）



▲回答者の職業（バス停利用者）



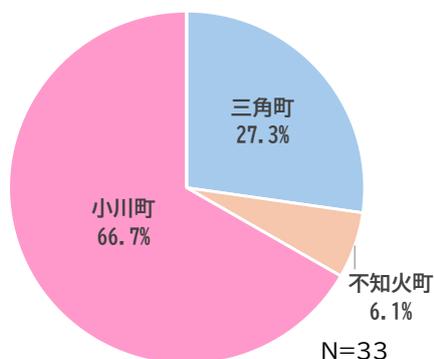
▲鉄道を利用するための改善点  
〔複数回答〕



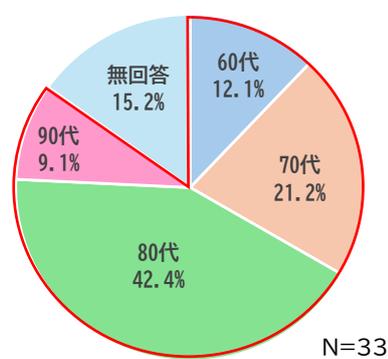
▲路線バスを利用するための改善点  
〔複数回答〕

## 4 乗合タクシー利用者アンケート調査

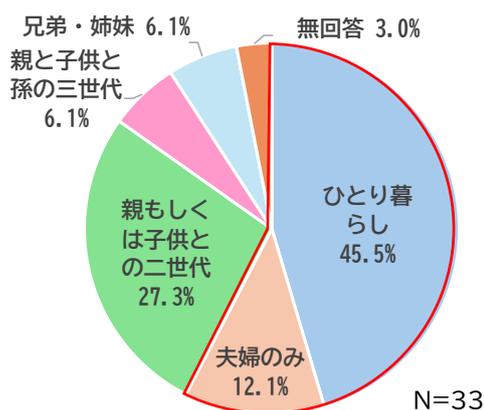
- 60歳以上が利用しており、特に高齢者のみの世帯の方の利用が多い傾向にあります。
- 主に買い物、通院での利用が多く、運行本数の増便に対する要望が強い傾向にあります。



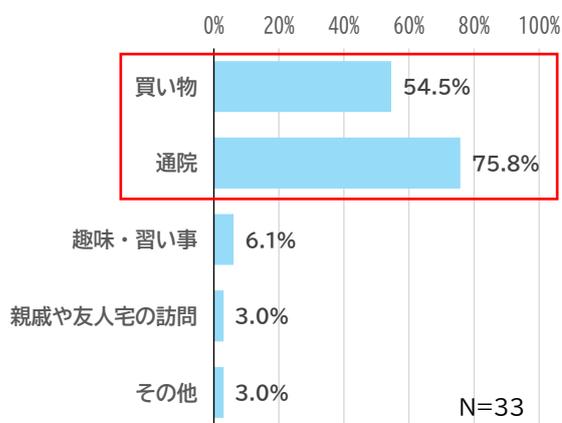
▲回答者の居住地



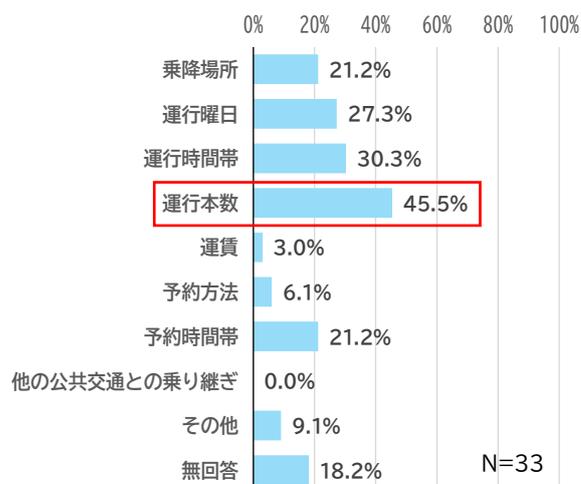
▲回答者の年代



▲回答者の家族構成



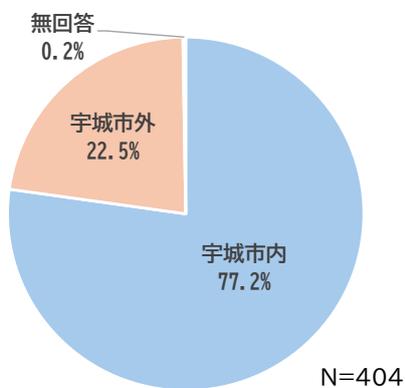
▲乗合タクシーを利用する際の主な目的  
〔複数回答〕



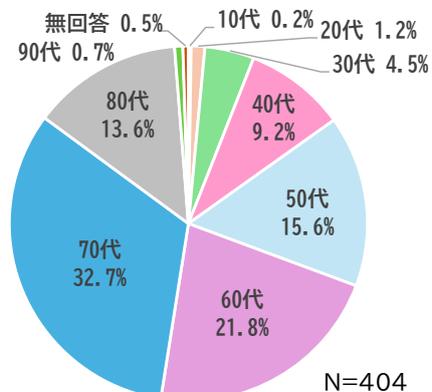
▲乗合タクシーを利用するにあたっての  
改善項目〔複数回答〕

## 5 商業施設利用者アンケート調査

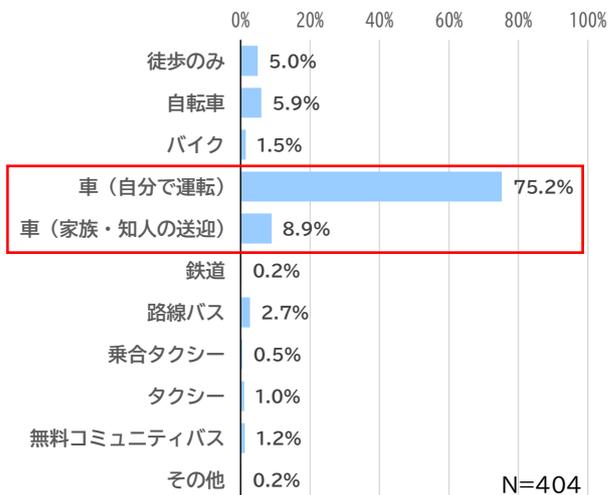
- 多くの方が車で来訪しており、日常的に公共交通を利用している方は少ない状況です。



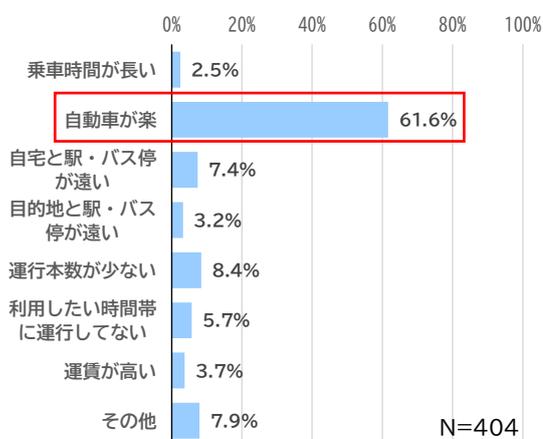
▲回答者の居住地



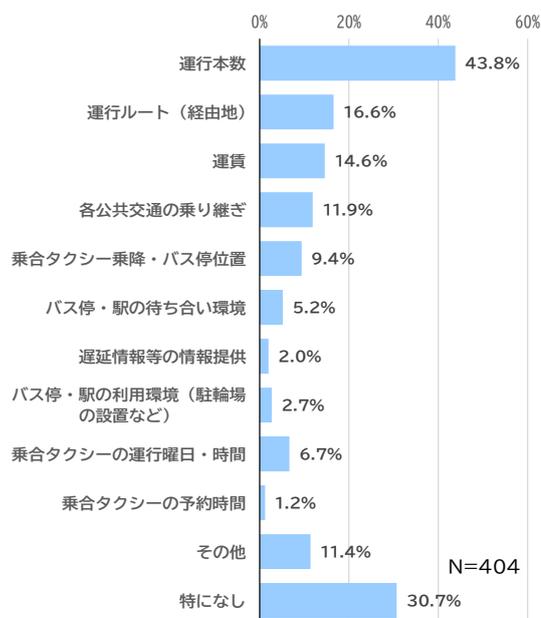
▲回答者の年代



▲商業施設への来訪手段〔複数回答〕



▲公共交通を利用しない理由〔複数回答〕

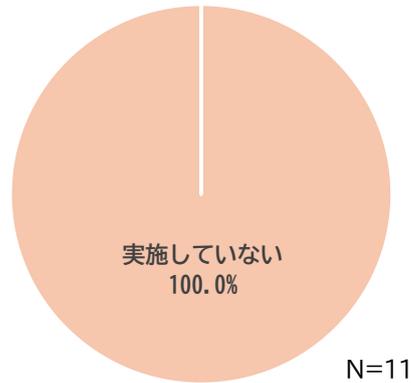


▲公共交通を利用するための改善点〔複数回答〕

## 6 企業・事業所への通勤等に関するアンケート調査

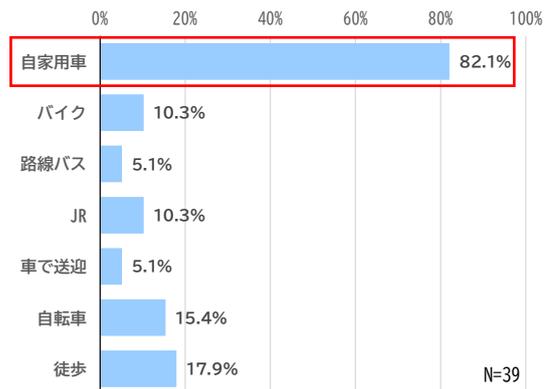
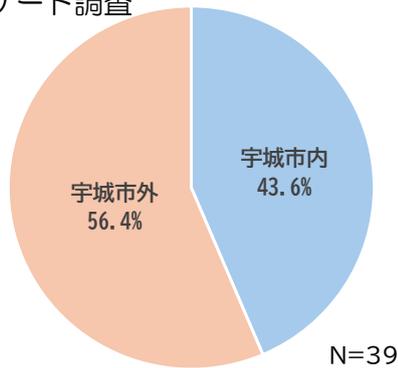
- ・アンケート調査に協力いただいた宇城市内の企業・事業所では、送迎サービスが実施されていない状況です。
- ・通勤手段は、自家用車が多数を占めますが、路線バスやJRで通勤する方も一部いる状況です。

※企業・事業者の代表者へのアンケート調査



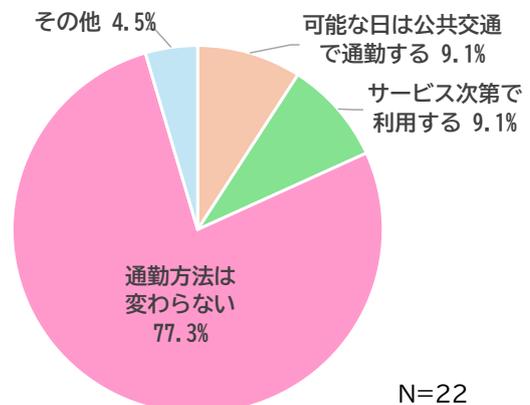
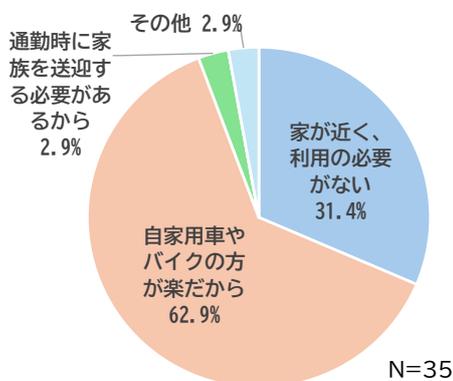
▲送迎サービスの実施状況

※以下、企業・事業者の従業員へのアンケート調査



▲回答者の居住地

▲通勤時の移動手段〔複数回答〕

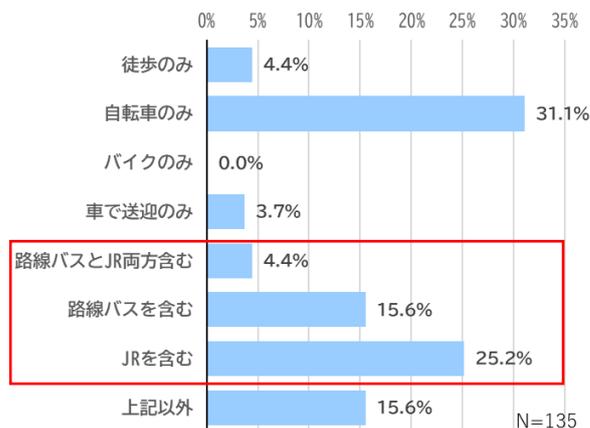
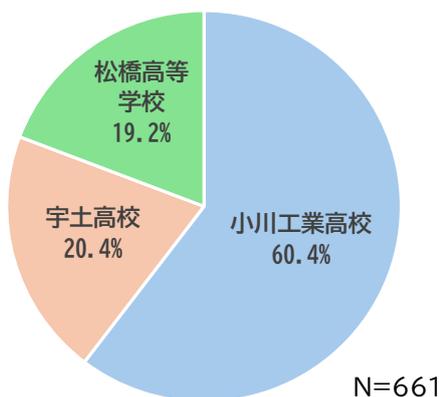


▲通勤で公共交通を利用しない理由

▲公共交通での通勤可能性

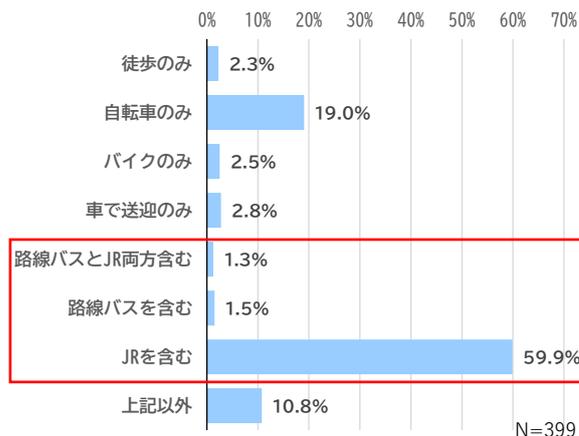
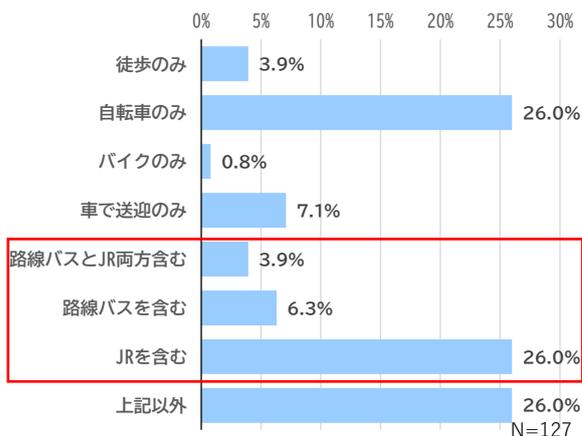
## 7 学生への通学等に関するアンケート調査

- 宇土高校と松橋高校は、3～4割が公共交通で通学しています。
- 小川工業高校は小川駅にも近いことが影響し、約6割がJRで通学しています。
- 支援学校では、公共交通を利用して通学している生徒は少ない状況にあります。



▲回答者の学校

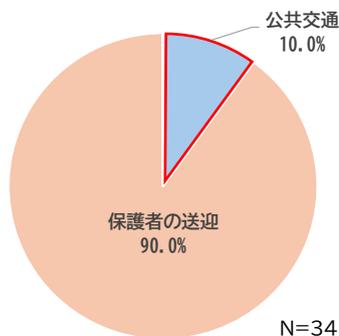
▲通学手段 (宇土高校)



▲通学手段 (松橋高校)

▲通学手段 (小川工業高校)

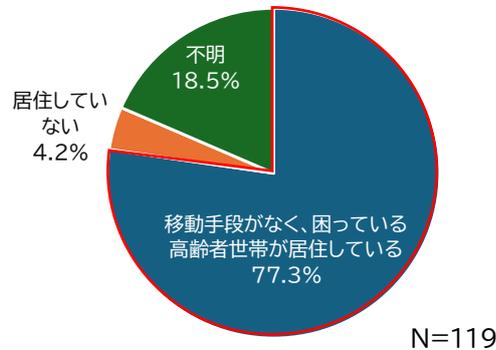
※支援学校へのアンケート調査



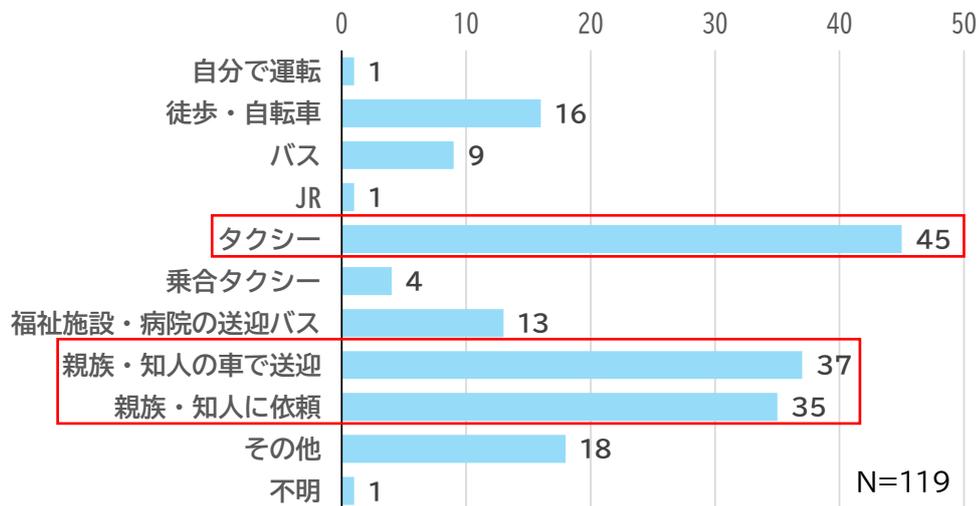
▲通学方法 (松橋支援学校)

## 8 民生委員への地区の生活交通に関するアンケート調査

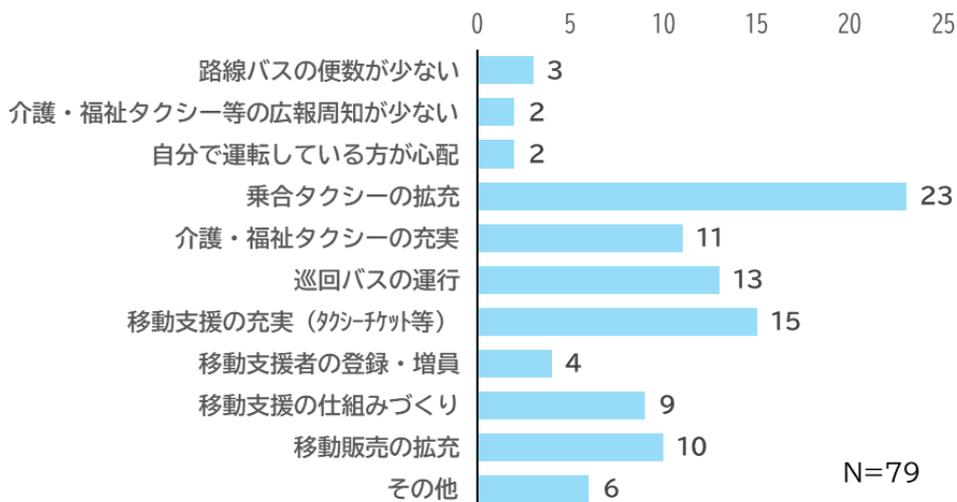
- 多くの地区には、移動手段がなく困っている高齢世帯が居住している状況にあります。
- 移動手段がない方はタクシーや親族・知人の送迎で移動している状況にあります。



▲地区の中で移動手段がなく困っている高齢者世帯の居住状況



▲移動で困っている高齢者世帯の移動手段



▲移動で困っている高齢者世帯に関する問題点・要望・意見

## 2 ヒアリング調査

### 1 ヒアリング調査概要

下記表の市内を運行する交通事業者、及び商業・医療施設にヒアリング調査を実施しました。

また、公共交通との連携可能性を把握するため、市関係部署に対してもヒアリング調査を実施しました。

項目	内容
調査対象	<ul style="list-style-type: none"><li>■路線バス事業者 九州産交バス（株）、産交バス（株）、熊本バス（株）</li><li>■タクシー事業者 （有）三角タクシー、（有）おがたタクシー、（有）小川タクシー、 （有）松橋タクシー、（有）湊タクシー、（有）おゝ村タクシー</li><li>■商業施設 イオンモール宇城、ゆめマート松橋、ゆめマート三角</li><li>■医療施設 済生会みすみ病院、宇城総合病院、桜十字熊本宇城病院、 熊本南病院</li><li>■市関係部署 まちづくり関係部署、教育関係部署、介護・福祉関係部署、 観光関係部署</li></ul>
対象選出理由	公共交通課題を詳細に把握している、または利用実態を把握していると考えられる事業者や施設等を選出
調査方法	直接訪問して聞き取り調査（状況に応じてメールや電話を活用）
実施時期	令和6年9月25日～
調査内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域公共交通の利用者の実態、ニーズ</li><li>・地域公共交通の問題点・課題</li><li>・将来展望 等</li></ul>

## 2 ヒアリング調査結果

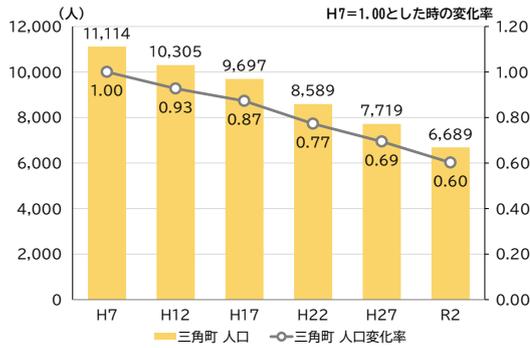
交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 路線バス、タクシーともに<u>運転手が不足</u>、また<u>高齢化</u>している状況です。</li> <li>• 路線バスの<u>利用者は減少傾向</u>にあり、それに伴い<u>運賃収入も減少傾向</u>にある一方で、燃料費高騰により<u>運行経費は増加</u>しています。</li> <li>• <u>タクシー事業は、需要量が供給台数を超過する時間帯</u>があります。</li> </ul>
商業施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 商業施設へは自家用車での来訪が多数となっており、公共交通への要望は少ない状況です。</li> <li>• イオンモール宇城では、現在無料のコミュニティバスが運行されています。</li> </ul> <p>また、令和 6 年 12 月に<u>自動運転実証実験を熊本県内で初めて実施</u>し、駅周辺の立地環境を活かし域内交流によるにぎわいの創出及び活性化を図るとともに、持続可能な地域社会の実現に向け、<u>自動運転EVバスの導入・運行可能性</u>を検討します。</p>
医療機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 利用者からは<u>施設入口までの路線バスの乗り入れ、待合環境の改善等、路線バスに関連した改善要望</u>が聞かれている状況です。</li> <li>• 各施設で、送迎支援、訪問診療等が実施されている状況です。</li> </ul>
庁内関係部署	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 宇城市では、令和 5 年に立地適正化計画が策定されており、コンパクト・プラス・ネットワークの観点から、<u>まちづくりとあわせた交通ネットワーク構築</u>が必要となります。</li> <li>• 高齢者等に必要に応じた<u>移動支援施策が必要</u>な意見がありますが、一方でタクシーは予約が取りにくい状況となっています。</li> <li>• <u>三角駅から世界文化遺産の三角西港にアクセス</u>する方法が限られており、観光の観点からは移動手段の確保が望まれています。</li> </ul>

### 3 地区別カルテ

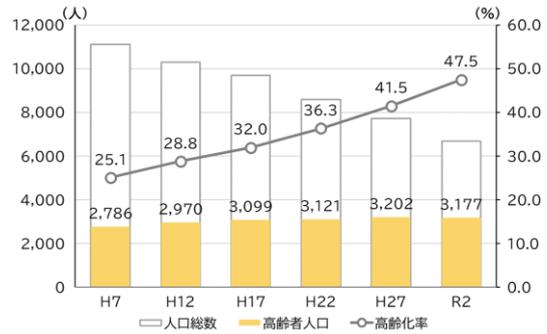
#### 1 三角町地区

##### 1) 地区の概況

- 三角町地区の令和2年の人口は約6,700人で、25年間で約4割減少しています。
- 高齢化率は約48%まで上昇し、人口の半分以上が高齢者となっています。



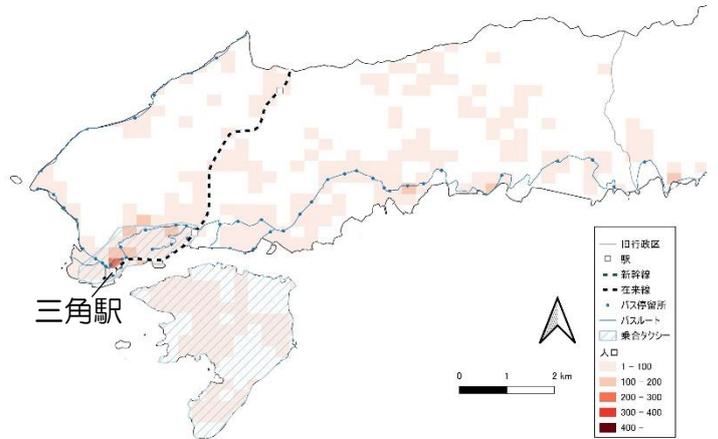
▲地区内人口・変化率の推移



▲高齢化率の推移

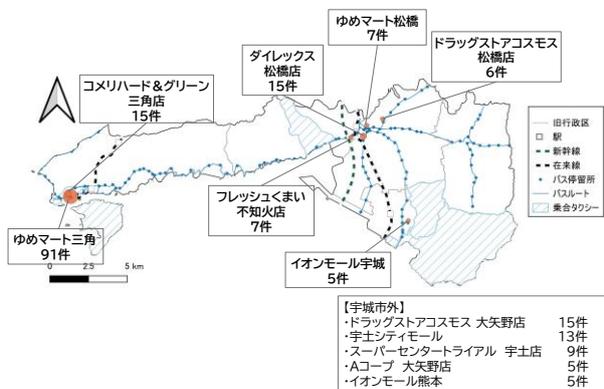
出典：国勢調査

- 人口は、鉄道、バス路線の沿線を中心に広く分布しています。
- 買い物・通院先としては、三角町内の施設利用が多い状況です。
- 宇城市内では松橋町への移動も確認される他、市外の上天草市、宇土市なども目的地となっています。
- 熊本市へは、熊本大学病院、済生会熊本病院などといった大規模施設を目的地としている傾向があります。



▲人口メッシュ図

出典：令和2年国勢調査（250mメッシュ）



▲買い物先施設図

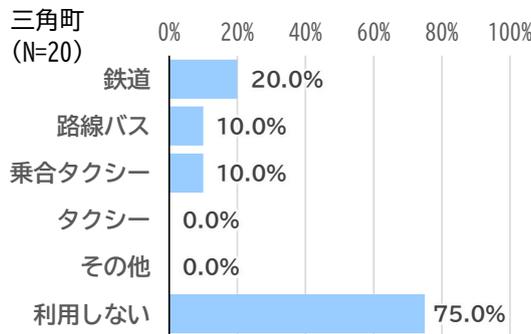


▲通院先施設図

出典：令和5年度熊本都市圏パーソントリップ調査付帯調査

## 2) 公共交通の利用実態

- 日常生活において最も利用する公共交通は、「利用しない」が75.0%で最も多く、「鉄道」が20.0%となっています。

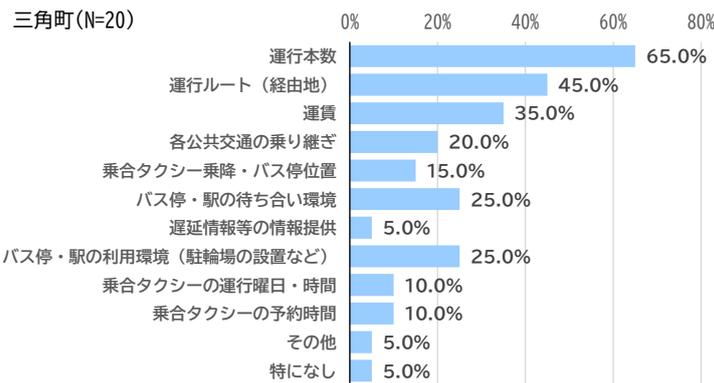


▲日常生活で利用する公共交通

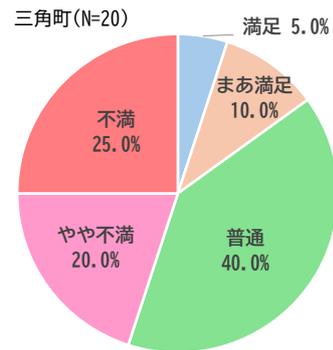
出典：市民アンケート調査

## 3) 公共交通に求めるニーズ

- 改善要望項目としては、「運行本数」が最も多く、満足度は低くなっています。
- 魅力的な移動支援として、「定額乗り放題」が最も多く挙げられています。

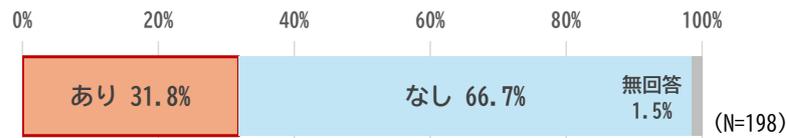


▲公共交通に対する改善要望項目〔複数回答〕

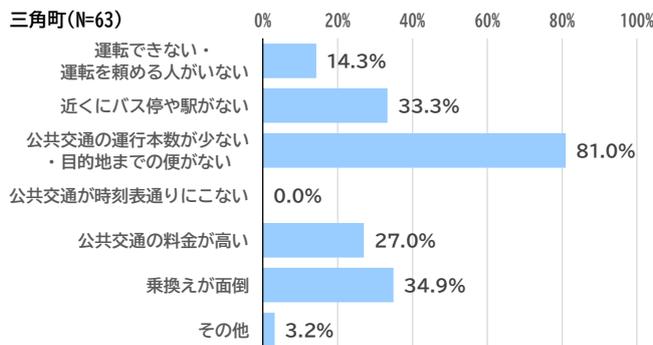


▲公共交通の満足度

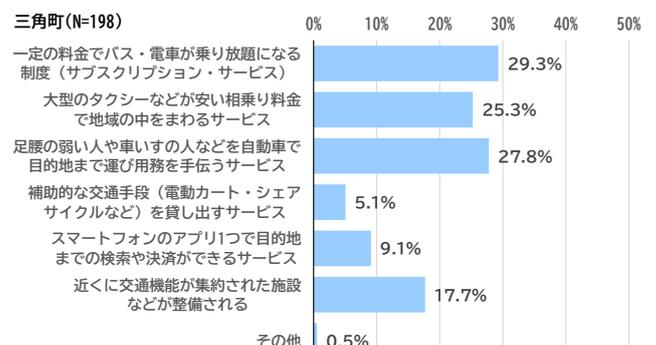
出典：市民アンケート調査



▲公共交通の困りごとの有無



▲公共交通の困りごとの内容〔複数回答〕



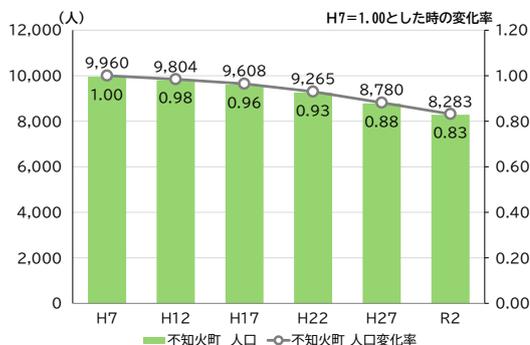
▲魅力的な移動支援サービス〔複数回答〕

出典：令和5年度熊本都市圏パーソントリップ調査付帯調査

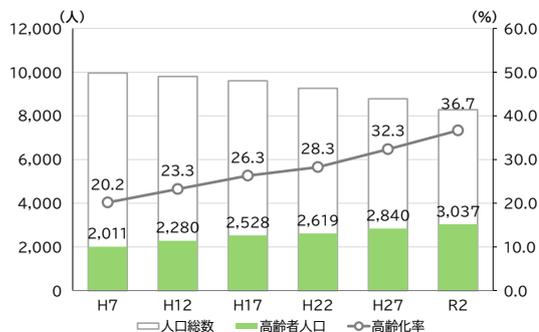
## 2 不知火町地区

### 1) 地区の概況

- ・不知火町地区の令和2年の人口は約8,200人で、25年間で約2割減少しています。
- ・高齢化率は約37%まで上昇し、人口の約4割が高齢者となっています。



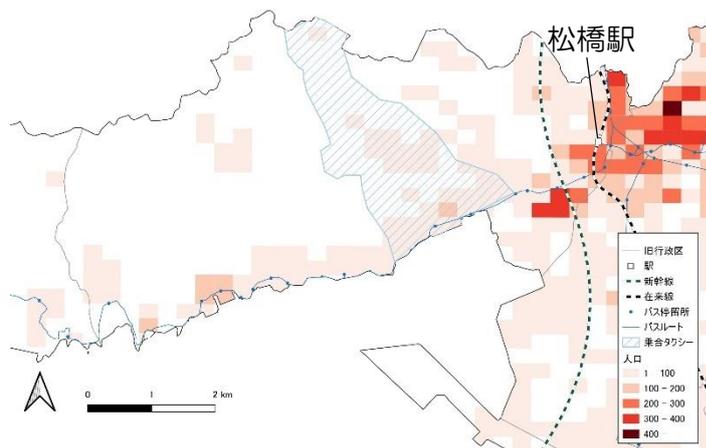
▲地区内人口・変化率の推移



▲高齢化率の推移

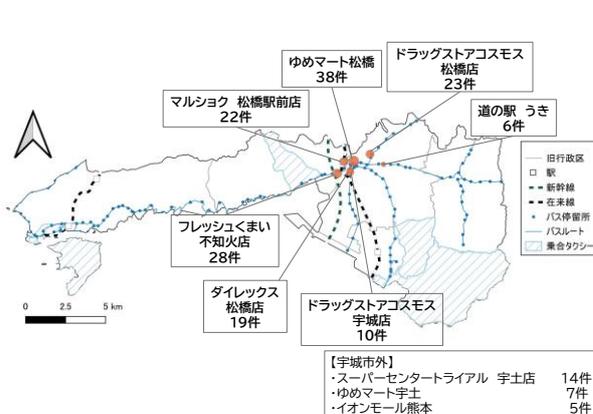
出典：国勢調査

- ・松橋駅周辺に人口が集積している他、沿岸部の路線バス沿線等に人口が分布しています。
- ・買い物・通院先は、不知火町・松橋町の施設利用が上位を占めている状況です。
- ・宇土市への買い物も一部確認されます。

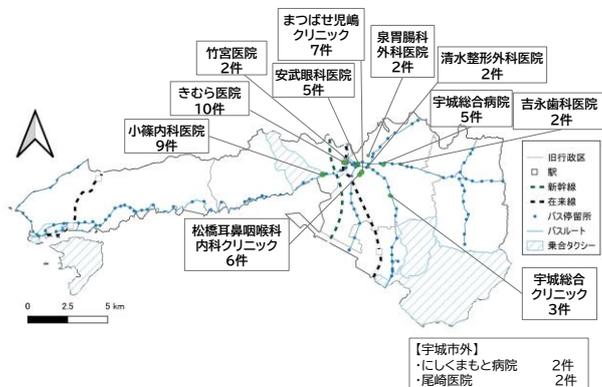


▲人口メッシュ図

出典：令和2年国勢調査（250mメッシュ）



▲買い物先施設図

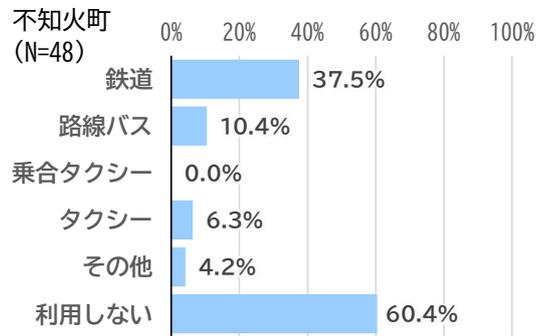


▲通院先施設図

出典：令和5年度熊本都市圏パーソントリップ調査付帯調査

## 2) 公共交通の利用実態

- 日常生活において最も利用する公共交通は、「利用しない」が60.4%で最も多く、「鉄道」が37.5%となっています。

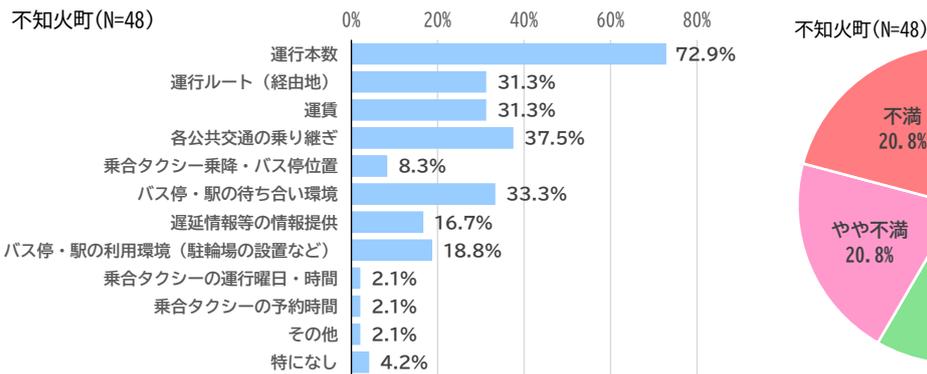


▲日常生活で利用する公共交通

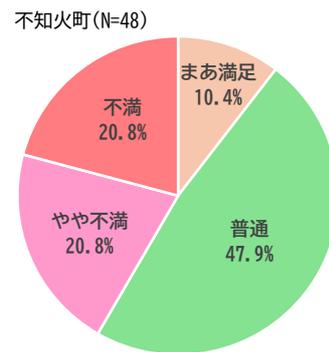
出典：市民アンケート調査

## 3) 公共交通に求めるニーズ

- 改善要望項目としては、「運行本数」が最も多く、満足度は低くなっています。
- 魅力的な移動支援として、「定額乗り放題」が最も多く挙げられています。

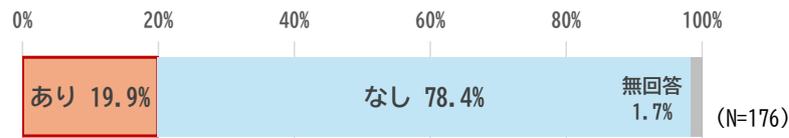


▲公共交通に対する改善要望項目〔複数回答〕

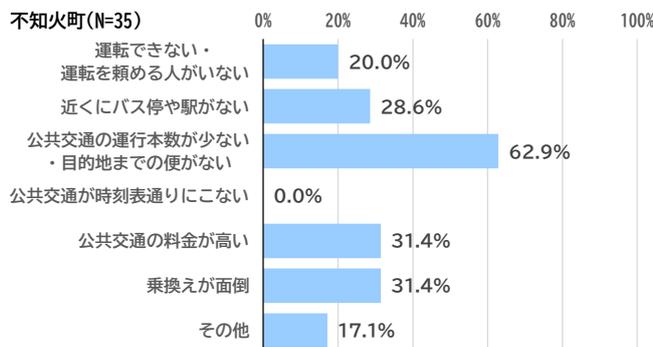


▲公共交通の満足度

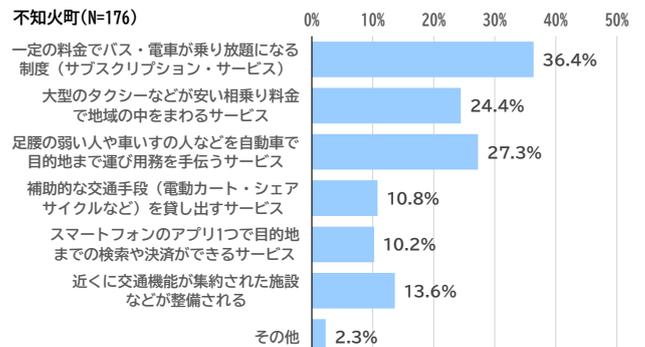
出典：市民アンケート調査



▲公共交通の困りごとの有無



▲公共交通の困りごとの内容〔複数回答〕



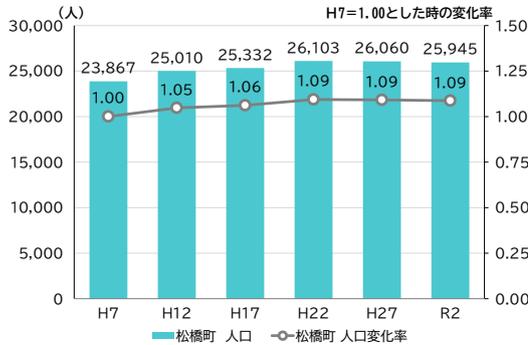
▲魅力的な移動支援サービス〔複数回答〕

出典：令和5年度熊本都市圏パーソントリップ調査付帯調査

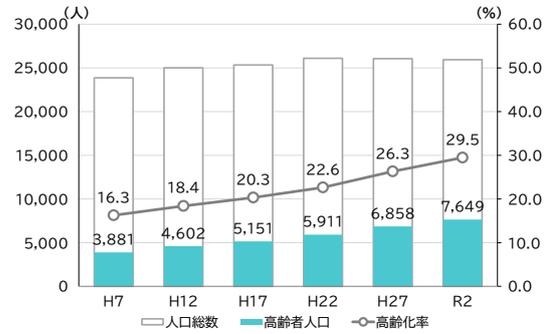
### 3 松橋町地区

#### 1) 地区の概況

- 松橋町地区の令和2年の人口は約26,000人で、25年間で約1割増加しています。
- 高齢化率は約30%まで上昇し、人口の約3割が高齢者となっています。



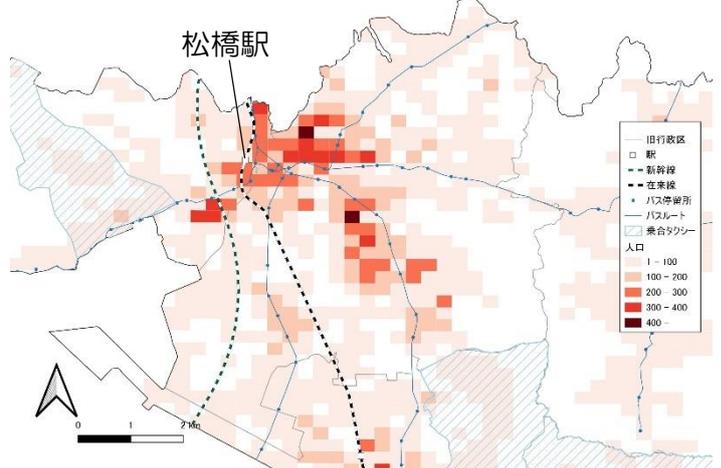
▲地区内人口・変化率の推移



▲高齢化率の推移

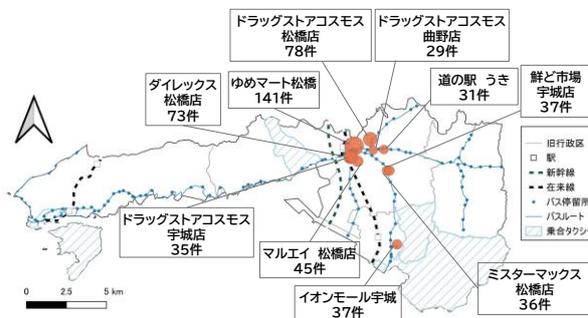
出典：国勢調査

- 松橋駅周辺に人口が集積し、町全体に広く人口が分布しています。
- 買い物・通院先は、松橋町の施設利用が大半を占めています。
- 他の町と比較して、宇城市外の施設への移動が比較的少ない傾向にあります。



▲人口メッシュ図

出典：令和2年国勢調査（250mメッシュ）



▲買い物先施設図

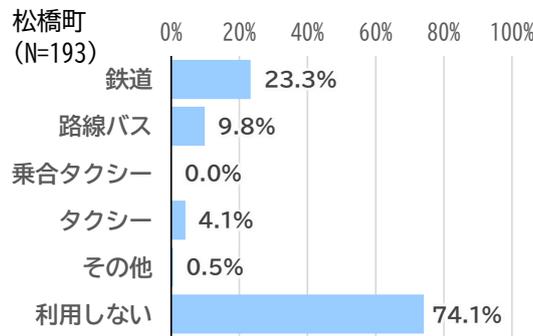


▲通院先施設図

出典：令和5年度熊本都市圏パーソントリップ調査付帯調査

## 2) 公共交通の利用実態

- 日常生活において最も利用する公共交通は、「利用しない」が74.1%で最も多く、「鉄道」が23.3%となっています。

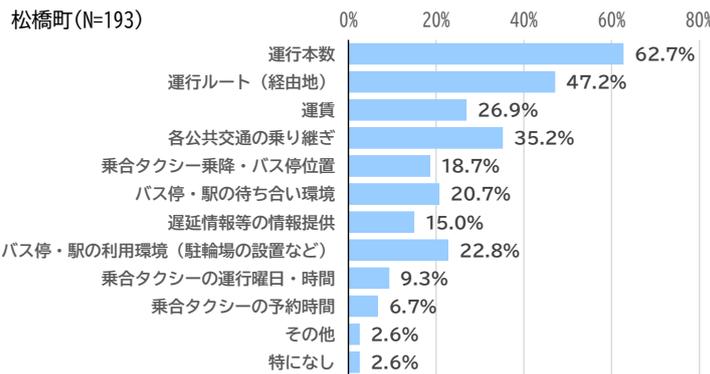


▲日常生活で利用する公共交通

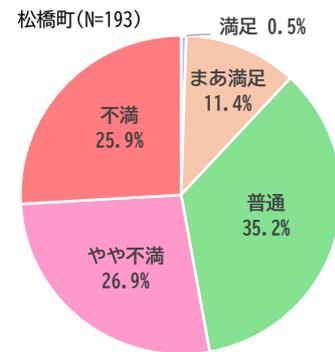
出典：市民アンケート調査

## 3) 公共交通に求めるニーズ

- 改善要望項目としては、「運行本数」が最も多く、不満足度が半数を越えています。
- 魅力的な移動支援として、「定額乗り放題」が最も多く挙げられています。

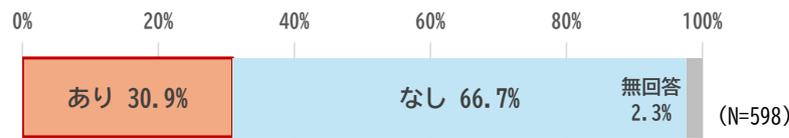


▲公共交通に対する改善要望項目〔複数回答〕

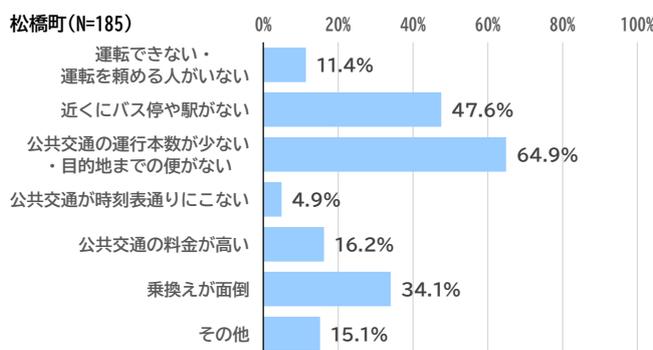


▲公共交通の満足度

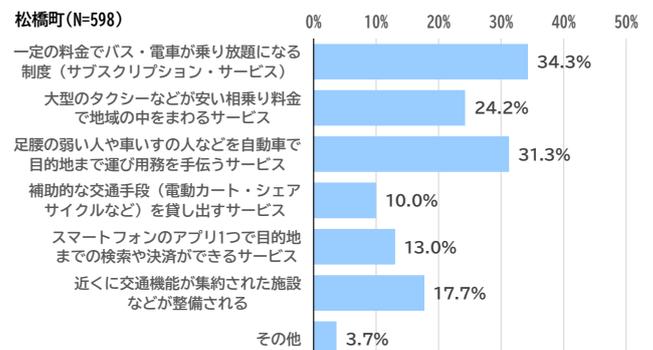
出典：市民アンケート調査



▲公共交通の困りごとの有無



▲公共交通の困りごとの内容〔複数回答〕



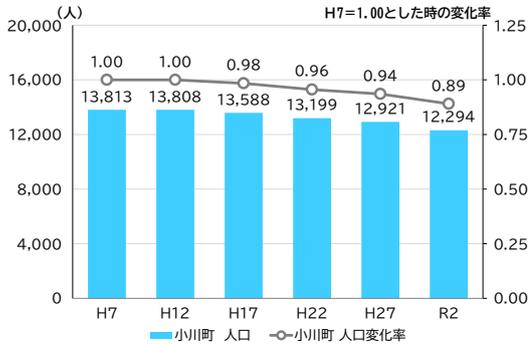
▲魅力的な移動支援サービス〔複数回答〕

出典：令和5年度熊本都市圏パーソントリップ調査付帯調査

## 4 小川町地区

### 1) 地区の概況

- ・小川町地区の令和2年の人口は約12,300人で、25年間で約1割減少しています。
- ・高齢化率は約36%まで上昇し、人口の約4割が高齢者となっています。



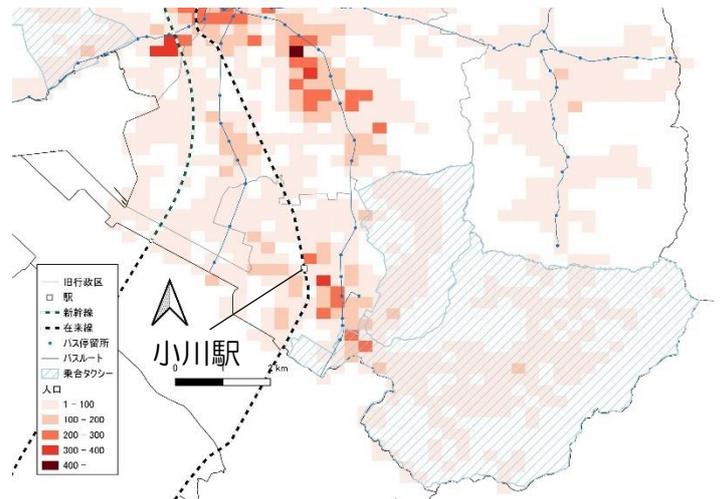
▲地区内人口・変化率の推移



▲高齢化率の推移

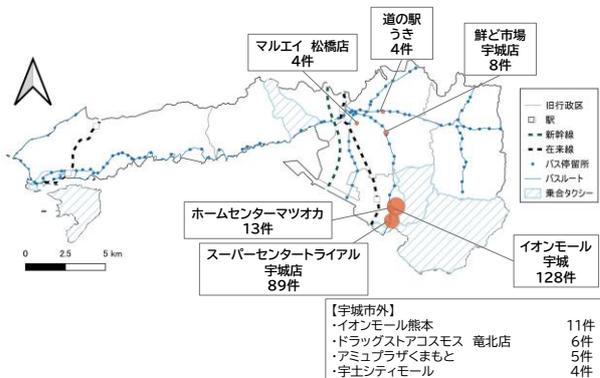
出典：国勢調査

- ・小川駅周辺に一部人口が集中しており、町全体に広く分布しています。
- ・買い物・通院先は、小川町内の施設利用が中心となり、一部松橋町や宇城市外の宇土市、氷川町も確認されました。

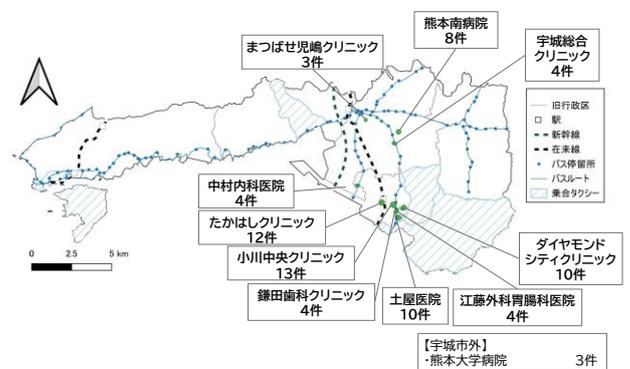


▲人口メッシュ図

出典：令和2年国勢調査（250mメッシュ）



▲買い物先施設図

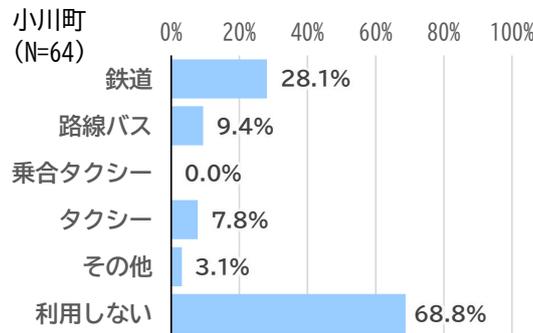


▲通院先施設図

出典：令和5年度熊本都市圏パーソントリップ調査付帯調査

## 2) 公共交通の利用実態

- 日常生活において最も利用する公共交通は、「利用しない」が68.8%で最も多く、「鉄道」が28.1%となっています。

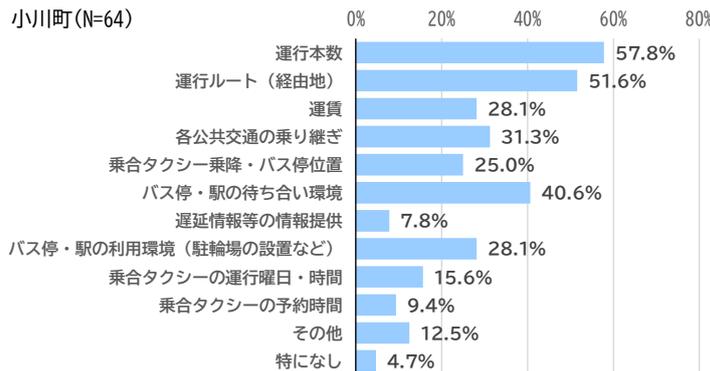


▲日常生活で利用する公共交通

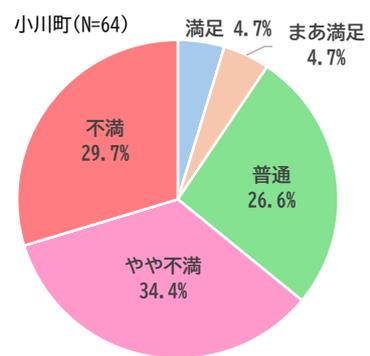
出典：市民アンケート調査

## 3) 公共交通に求めるニーズ

- 改善要望項目としては、「運行本数」が最も多く、不満足度が6割を越えています。
- 魅力的な移動支援として、「定額乗り放題」が最も多く挙げられています。

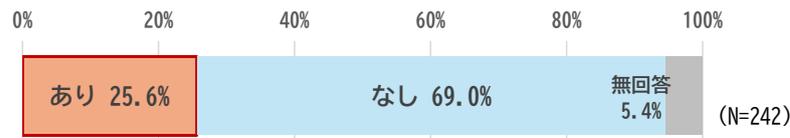


▲公共交通に対する改善要望項目〔複数回答〕

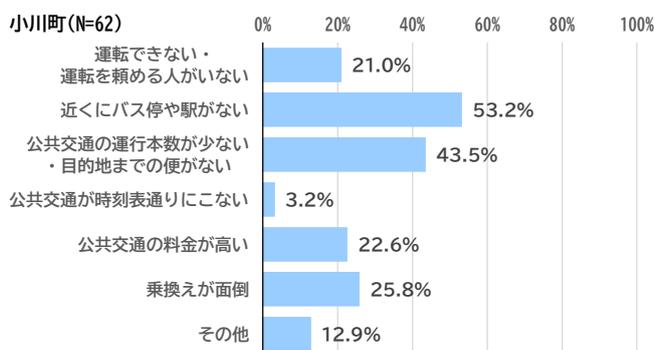


▲公共交通の満足度

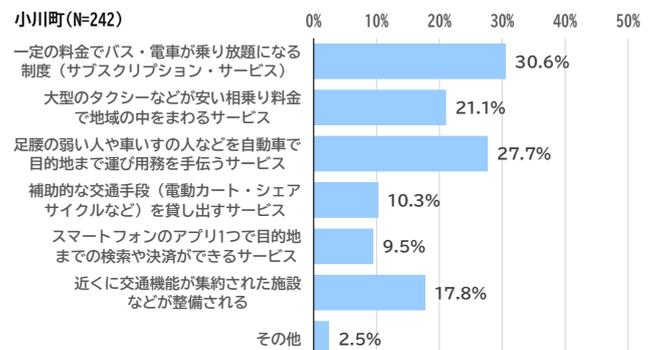
出典：市民アンケート調査



▲公共交通の困りごとの有無



▲公共交通の困りごとの内容〔複数回答〕



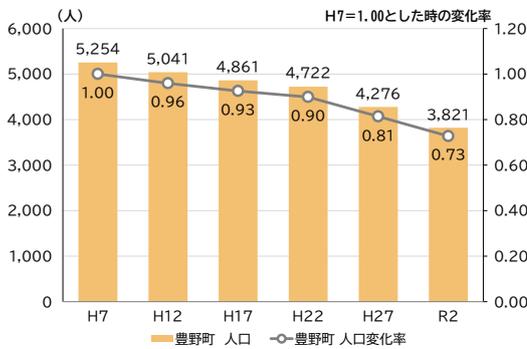
▲魅力的な移動支援サービス〔複数回答〕

出典：令和5年度熊本市圏パーソナルトリップ調査付帯調査

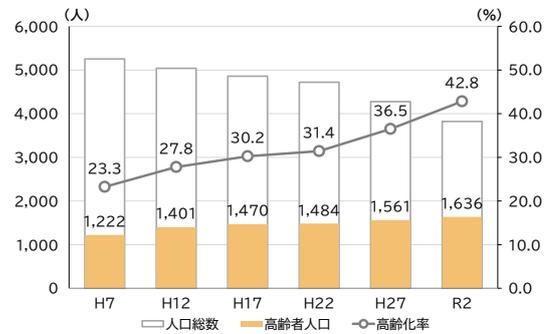
## 5 豊野町地区

### 1) 地区の概況

- 豊野町地区の令和2年の人口は約3,800人で、25年間で約3割減少しています。
- 高齢化率は約43%まで上昇し、人口の約4割が高齢者となっています。



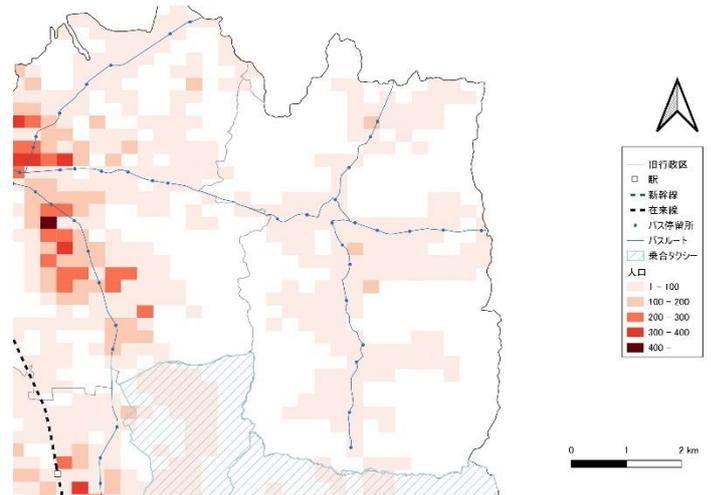
▲地区内人口・変化率の推移



▲高齢化率の推移

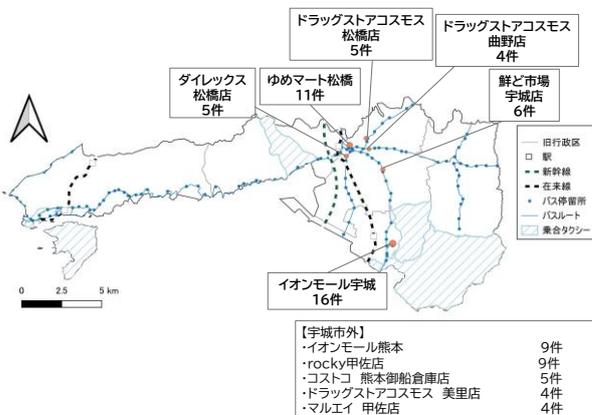
出典：国勢調査

- 路線バス沿線を中心に人口が分布しています。
- 買い物先は、松橋町、もしくは宇城市外の美里町や甲佐町、御船町等、広範囲にわたります。
- 一方で、通院先としては、豊野町内の狩場医院が4件と最も多く、そのほかは松橋町の病院をはじめ、分散している傾向にあります。

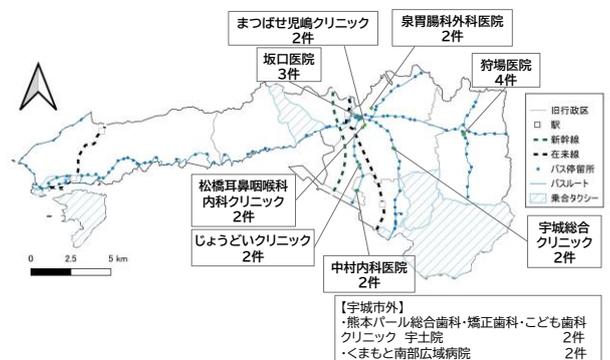


▲人口メッシュ図

出典：令和2年国勢調査（250mメッシュ）



▲買い物先施設図

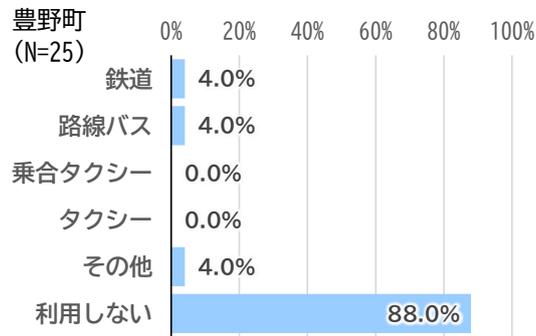


▲通院先施設図

出典：令和5年度熊本市圏パーソナルトリップ調査付帯調査

## 2) 公共交通の利用実態

- 日常生活において最も利用する公共交通は、「利用しない」が88.0%で最も多く、「鉄道」と「路線バス」が4.0%でほとんど利用がありません。

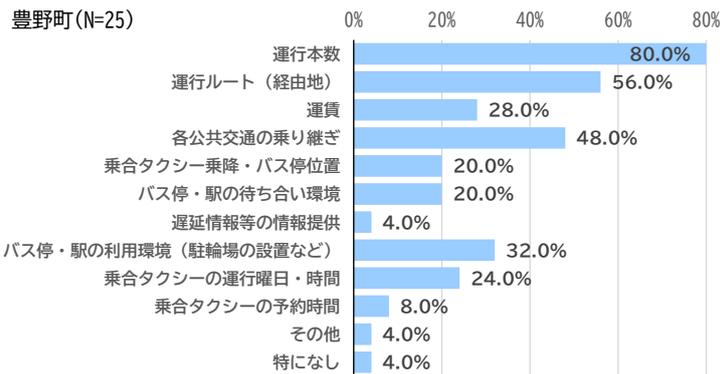


▲日常生活で利用する公共交通

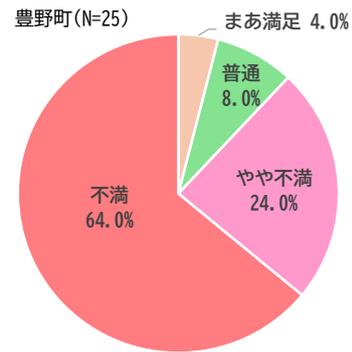
出典：市民アンケート調査

## 3) 公共交通に求めるニーズ

- 改善要望項目としては、「運行本数」が最も多く、不満足度は約9割となっています。
- 魅力的な移動支援として、「定額乗り放題」が最も多く挙げられています。

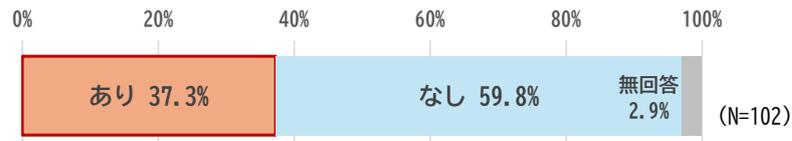


▲公共交通に対する改善要望項目〔複数回答〕

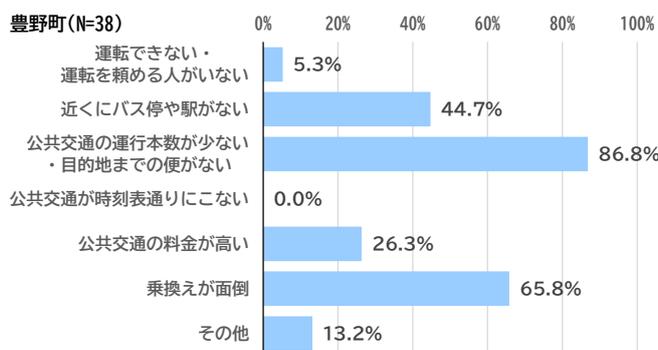


▲公共交通の満足度

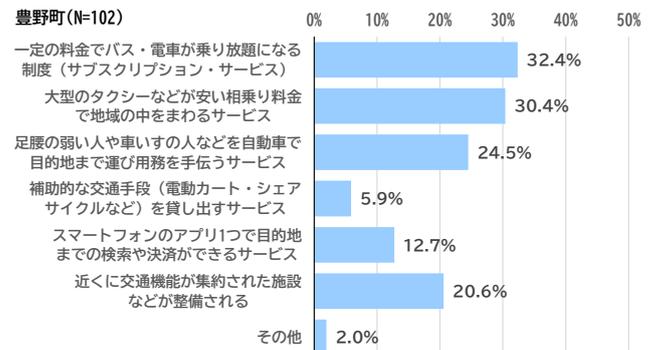
出典：市民アンケート調査



▲公共交通の困りごとの有無



▲公共交通の困りごとの内容〔複数回答〕



▲魅力的な移動支援サービス〔複数回答〕

出典：令和5年度熊本都市圏パーソントリップ調査付帯調査